

松波小学校だより

第10号
令和8年1月28日
能登町立松波小学校

今年もよろしくお願ひいたします。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

3学期が始まり、学校生活も落ち着きを取り戻してきました。始業式では、1年間のまとめとして、この学期に特に大切にしてほしいことを子どもたちに伝えました。その中で、本校が教育活動の柱としている「3つのあ」について、改めて確認しました。

一つ目は、「あんしん・あんぜん」です。学校は、子どもたちが安心して学び、互いに認め合いながら成長していく場です。廊下を走らないこと、遊びのルールを守ること、困っている友だちに声をかけること。こうした一人一人の行動の積み重ねが、学校全体の安心と安全を支えています。子どもたちが友達と関わり合いながら、思いやりをもって行動する姿に、学校のあたたかさを感じています。



二つ目は、「あいさつ」です。あいさつは、人と人とのつなぐ大切な第一歩です。元気なあいさつが交わされることで、学校の雰囲気は明るくなり、互いを大切にする気持ちが育ちます。日々の学校生活の中で、子どもたちのあいさつがより広がっていくことを、今後も大切にしていきたいと考えています。

三つ目は、「あたりまえ（凡事徹底）」です。時間を守る、話をよく聞く、持ち物を整える、靴をそろえる。こうした日常のあたりまえを丁寧に積み重ねることが、学習や生活の基礎となり、次の学年へ進む力につながります。3学期は、自分自身の生活や学びを振り返り、より確かなものにしていく大切な時期です。

また、子どもたちには、この3学期に自分なりの目標を一つ定め、取り組むことを話しました。大きな目標である必要はありません。日々の生活の中で意識して続けられる小さな目標をもち、粘り強く取り組むことが成長につながります。学校では、教職員が一人一人の頑張りを認め、励ましながら支えていきます。

3学期は、1年間のまとめであると同時に、次の学年への準備期間でもあります。子どもたちが自信をもって卒業・進級できるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。

保護者の皆様、そして地域の皆様と手を携えながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願ひいたします。

能登町立松波小学校 校長 宮本 秀人